

今週の

# いきもの広場

## ① トホシテントウの幼虫



成虫

テントウムシのなかまでは珍しく幼虫の姿で冬を越します。この後さなぎになり、成虫になるのは初夏頃。トゲはさわっても大丈夫。

## ② キリバエダシャクの幼虫



幼虫の頭

姿が木の枝にそっくりな上、ほとんど動きません。また、口から糸を吐いて、枝に体を固定しているようです(矢印)。

## ③ ヒガシニホントカゲ



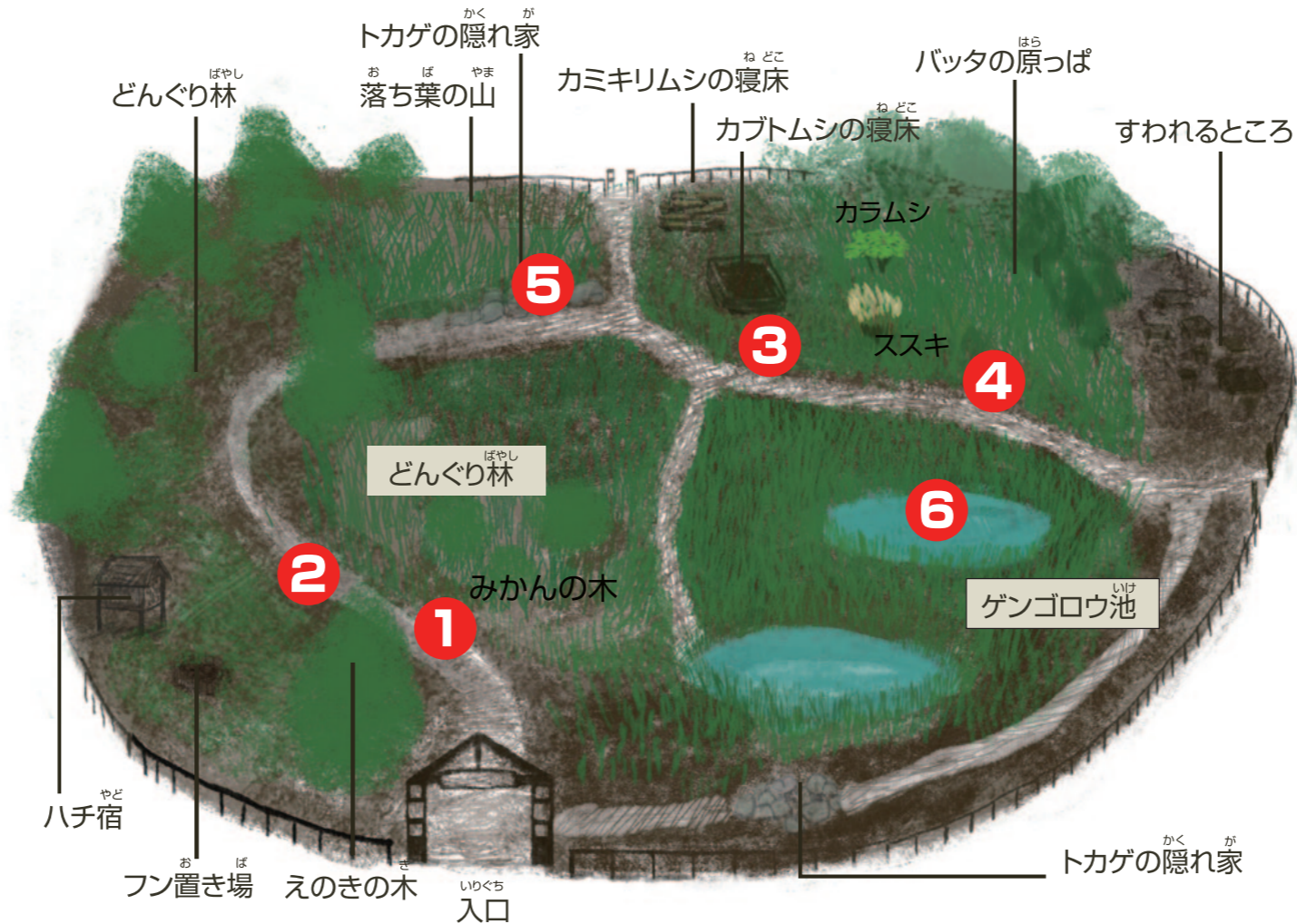
寒い時期は、地中でじっとしているトカゲですが、気温が上がってくると、日当たりの良い石の上などに出て体を温めています。

## ④ キタキチョウ



この時期に成虫の姿で見られるキタキチョウは、昨年秋頃に生まれ、冬を越したキタキチョウです。冬の間はササの茎などにとまり、動かずに春を待ちます。

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。4月になり、長い冬を越したいきものたちが動き始め、広場はにぎやかになってきました。



## ⑥ アズマヒキガエルのオタマジャクシ



3月23日に池で卵が見つかった後、2週間後の4月7日からはオタマジャクシが見られるようになりました。

## ⑤ アズマヒキガエルの成体



冬は深い地中にもぐっていたヒキガエルも、あたたかくなるにつれて、浅いところで見つかるようになってきました。



活動日以外は池を網でおおっています  
広場の池のオタマジャクシは、そのままと野生のカモに食べられてしまいます。上陸するまでの約1ヶ月、活動時間以外は網でおおっています。